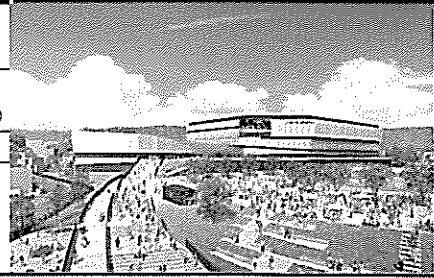


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都アリーナ(仮称)整備・運営等事	階数	地上5F
建設地	京都府向日市寺戸町西ノ段5番地他	構造	S造
用途地域	近隣商業地域, 準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年7月 予定	評価の実施日	2026年1月27日
敷地面積	57,423 m ²	作成者	株式会社梓設計
建築面積	13,772 m ²	確認日	2026年1月27日
延床面積	27,599 m ²	確認者	株式会社梓設計 土生達哉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 74%

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

LR のスコア = 3.4

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 2.9	Q2のスコア = 4.0	Q3のスコア = 3.1
音環境: 2.2, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.2, 空気質環境: 3.2	機能性: 4.6, 耐用性: 3.9, 対応性: 3.6	生物環境: 2.0, まちなみ: 4.0, 地域性・: 3.0

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.6	LR2のスコア = 3.5	LR3のスコア = 3.2
建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システム効率化: 3.3, 効率的: 3.3	水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.8, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 4.0, 地域環境: 2.0, 周辺環境: 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
LIVE LOOP KYOTO アリーナと競輪場をつなぎ、地域に賑わいを広げる『かさねわ』 ~5つの『和』・『輪』・『環』・『話』・『WA』~	特になし
Q1室内環境 アリーナ空間としての室内環境の向上のため、遮音性能に配慮している。	Q2サービス性能 メンテナンスに配慮した計画としている。
Q3室外環境(敷地内) 向日市の街並みに配慮した植栽計画をしている	
LR1エネルギー BEIm: 0.64以上	LR2資源・マテリアル リサイクル資源の活用
	LR3敷地外環境 雨水貯留を実施

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される